

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2000-194556(P2000-194556A)

【公開日】平成12年7月14日(2000.7.14)

【出願番号】特願平11-365694

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F	9/38	3 1 0 F
G 0 6 F	9/38	3 1 0 E
G 0 6 F	9/38	3 7 0 X

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月22日(2006.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 命令のセットを有するコンピュータコードを実行する方法であって、
現在の命令に関連付けられたルックアヘッドコードの値を読み出す工程と、
該ルックアヘッドコードにより特定された位置におけるカウンタをインクリメントする工程と、

該現在の命令に関連付けられたカウンタの値を読み出す工程と、
該現在の命令に関連付けられたカウンタが0の値を有する場合に、該現在の命令を実行する工程と、

該現在の命令に関連付けられたカウンタが0でない値を有する場合に、該現在の命令の実行を待ち、該カウンタの値が0に至ったときに、該コードを実行する工程と、

該命令が実行された後に、該ルックアヘッドコードにより特定された該位置における該カウンタをデクリメントする工程と
を含む方法。

【請求項2】 前記カウンタをインクリメントする工程は、前記ルックアヘッドコードの値を読み出した後に、nを該ルックアヘッドコードの値としたとき、n+1カウンタだけ現在のカウンタの先にある位置におけるカウンタをアドレスする工程
を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記ルックアヘッドコードの値が0の場合に、どのカウンタもインクリメントしない工程
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】 コンピュータプログラムの命令のセットの適切な動作を確実にする方法であって、
各命令に対するレジスタを有する命令セットメモリ内に各命令を格納する工程と、
各レジスタに関連付けられたカウンタ内に格納された値を読み出す工程と、

該カウンタの値が0である場合に、該命令を実行する工程と、
該カウンタの値が0以外の数である場合に、該命令を実行しない工程と
を含む、方法。

【請求項5】 ルックアヘッドコードを各命令の一部として格納する工程と、
該命令を実行するに先立って、該命令に対する該ルックアヘッドコードを読み出す工程

と、

該ルックアヘッドコードが 0 よりも大きな値を有する場合に、現在の命令を保持するレジスタとは異なるレジスタに関連付けられたカウンタをインクリメントする工程と、

該現在の命令を実行する工程と、

該現在の命令が実行された後に、該現在の命令を保持する該レジスタとは異なる該レジスタに関連付けられた該カウンタをデクリメントする工程と

をさらに含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 命令のセットの適切な動作を確実にする装置であって、複数の命令をそれぞれ格納するための、複数のレジスタから構成される命令セットメモリと、

各レジスタに関連付けられたカウンタと、

各レジスタとそれに関連付けられたカウンタとの間における、該カウンタの値を読み出すための接続と

を含む、装置。

【請求項 7】 前記メモリ内の命令を格納する各レジスタと、該メモリ内の各レジスタに関連付けられた各カウンタとの間の接続であって、各カウンタが該メモリ内の各レジスタからインクリメントまたはデクリメントされることを可能にする接続をさらに含む、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】 各カウンタは、3 ビットカウンタであり、前記メモリ内の 8 つのレジスタと、該メモリに関連付けられた 8 つのカウンタとが存在する、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】 各命令は、ルックアヘッドコードと命令セットとを含む、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】 各ルックアヘッドコードは、カウンタ照合コードとカウンタインクリメントコードとを含む、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】 各命令セットは、メモリ動作と演算動作と制御動作とを含む、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 12】 現在のセット内のすべての命令が実行された後に、前記メモリのレジスタ内に新しい命令のセットをロードするための命令セットロード回路をさらに含む、請求項 6 に記載の装置。